

保護者のみなさま

## 学校評価アンケートの結果について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

昨年12月にご協力いただいた学校評価アンケートの実施におきましては、回答率が70%と多くのご回答をいただき、心より感謝申し上げます。この度、結果がまとまりましたので、ご報告いたします。この結果をこれからの学校教育活動に生かしていきたいと考えています。なお、この結果をもとに、1月23日の学校運営協議会で委員の方からもご意見をいただいております。

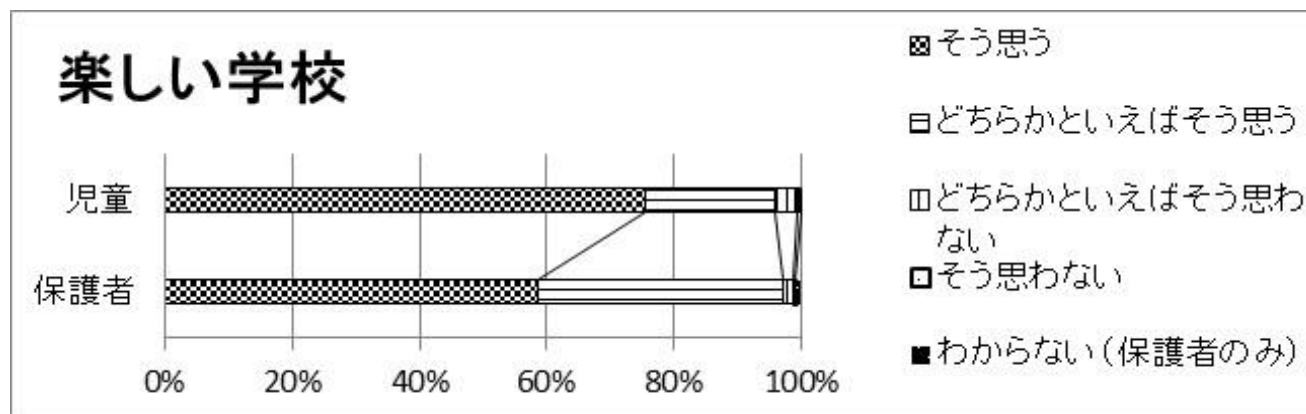
### 【学校全体として】

#### 《 設問 1 》

子供達は、学校生活を楽しんでいると思いますか。

(児童：学校は楽しいですか。)

#### 《 結果 》



#### 《 結果について 》

児童では95%、保護者では97%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答していました。児童からは、「うんどうかいがたのしい。」「お勉強が楽しいところ。」「みんなが楽しんで生活できている。」等の意見があり、保護者の方からの意見でも片平小のよさの中で、「笑顔がたくさんなところ。」「子供達が自由に楽しく学習することができている。」などが挙げられていました。一方で、児童では4%強、保護者は2%強が「どちらかというところそう思わない。」「そう思わない。」と答えていました。個に応じた支援をするとともに、児童にとって学校が楽しい場所となるよう、引き続き、学校全体として取り組んでいきたいと思っております。

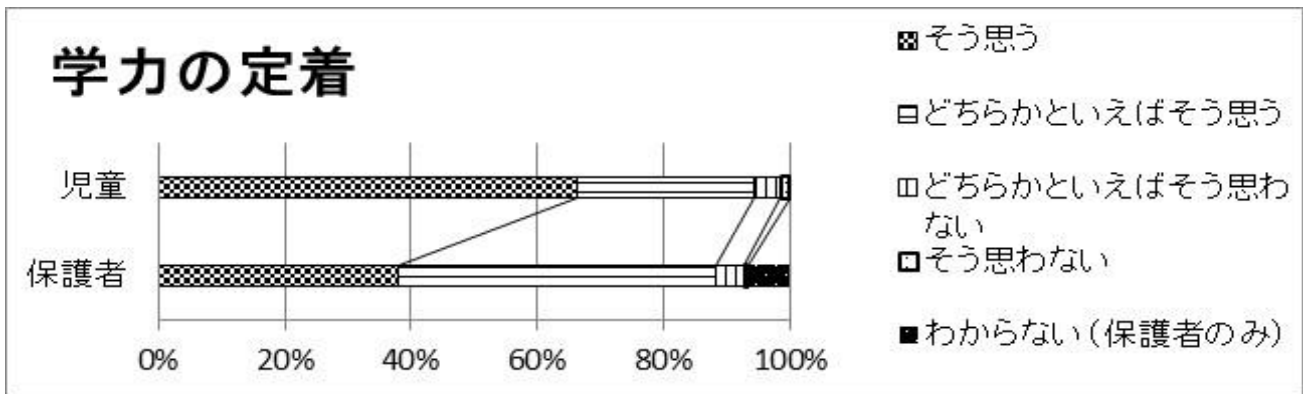
### 【確かな学力の育成】

#### 《 設問 2 》

学校では、一人一人の基礎・基本の定着をめざし、少人数授業、個別支援(入り込み・取り出し)指導、GIGA 端末の効果的な活用など工夫して取り組んでいます。こうした取り組みは、子供達の基礎学力の定着につながっていると思いますか。

(児童：学校の勉強で、「わかった」「できた」「またやりたい」と思うことがありますか。)

## 《 結果 》



## 《 結果について 》

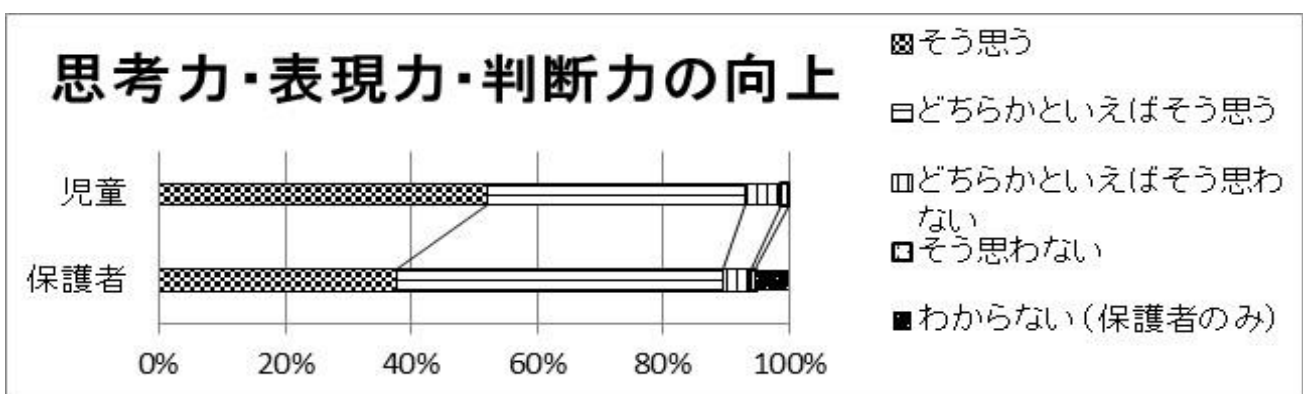
児童・保護者ともにほぼ9割が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。児童からは、「楽しくべんきょうができる。」「先生がいつもわかりやすくべんきょうをおしえてくれる。」「勉強を工夫して楽しくしてくれる。」等、たくさんの前向きな回答が挙げられていました。一方、「そう思わない」「どちらかというところ思わない」と回答した児童も5%強いました。そのように答えている児童を気にかけて、今後も実態を踏まえて見守っていくとともに、今後も、日々の授業・教材研究を通して、子供達が学びを実感できる「わかる授業」を目指していきます。また、今年度設定した「分からない」と回答した保護者が6.6%となっています。引き続き、個人面談、授業参観、ホームページ、各種おたより等で子供達の学力面の様子を伝えていきたいと思ひます。

## 《 設問 3 》

子供達はいろいろな方法で考えたり問題を解いたりする力や話を聞いたり分かりやすく話したりする力(表現力・思考力・判断力等)が育ってきていると思ひますか。

(児童:いろいろな問題を考える力や話をしっかり聞いたり、分かりやすく話したりする力がついていますか。)

## 《 結果 》



## 《 結果について 》

保護者、教職員の結果は、昨年度と同様に、9割以上が「そう思う」「どちらかというところ思ひます。また、児童に関しては、昨年度と比べて、肯定的な評価がやや増加し、「そう思わない」との回答が2.3%から1.3%に減少しています。保護者では、今年度設定した「分からない。」との回答が5%強となっていますが、「そう思わない」「どちらかというところ思ひます。引き続き、知識・技能を活用しながら思考力・表現力・判断力の向上につながる授業づくりを目指していきたいと思ひます。

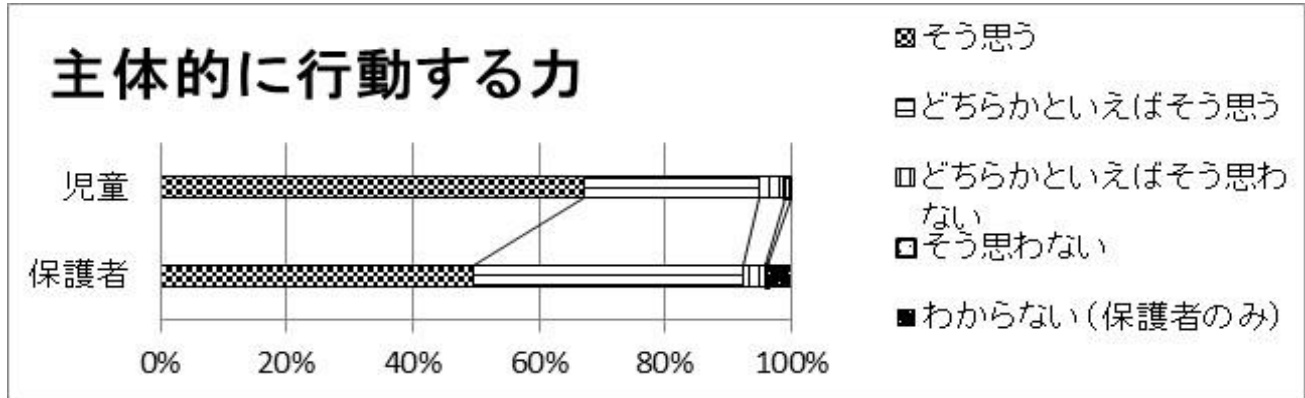
## 【子供と共に築く学校】

### 《 設問 4 》

学校では、係活動・実行委員活動・委員会活動等、一人一人が活躍できる場をつくることを心がけています。子供達は、活動を通して、主体的に行動する力が育ってきていると思いますか。

(児童：係活動、実行委員活動、委員会活動などで、進んで行動していますか。)

### 《 結果 》



### 《 結果について 》

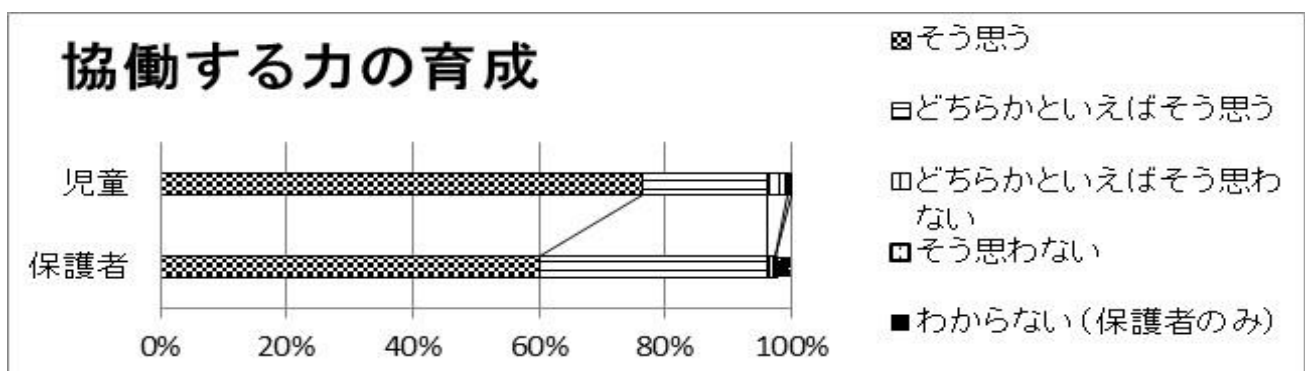
本校教育目標のキーワードの一つである「主体性」に関わる内容となります。児童・保護者とも9割以上が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答していました。特に、児童は95%以上が「そう思う」「どちらかというと思う」と答えており、さらに昨年度と比べて「そう思う」の回答が60%から69%と上回っています。また、記述の回答の中でも「自分から…」「進んで…」「積極的に…」等、主体性に関する意見が多数挙げられています。また、保護者の方からも「自分達で考えて実現する、主体的な力が身に付く。」「低学年の頃から一人一人に係や役割を与えて、学校活動に主体的に関わらせている。」「様々な行事や日常生活の中で、子供達が主体的に取り組み、考え、行動できる場所だと思います。」「高学年が優しく、主体的に活動に取り組んでいるので、だんだんそういう子に育ってくれるだろうという安心感があります。」等、児童の姿や学校における児童の主体性を育む取り組み(場・機会)への評価を多くいただきました。今後も、子供達一人一人が主体性をもって生き生きと学校生活を送ることができるよう見守っていきたいと思います。

### 《 設問 5 》

学校では、同学年の友達や他学年との多様な関わりの機会を設定し、協力することのよさを実感できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、子供達の協働する力を育むことにつながっていると思いますか。

(児童：係・実行委員・委員会等の活動をいろいろな友達と協力しながら行っていますか。)

### 《 結果 》



## 《 結果について 》

本校教育目標のキーワードの一つである「協働」に関わる内容となります。上記《設問4》同様に児童及び保護者の95%以上が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と評価しており、昨年度に比べて上回っています。また、保護者においても《設問4》での評価項目より「そう思う」との回答が多くなっていました。記述の回答にも、「たすけあったりしている。」「全校のみんなが協力する。」「皆で協力して、物事を実行する。」「全学年仲間と協力して助け合える、分かち合えることだと思う。」(以上、児童)や「行事(運動会)などで見る子供達の姿は、学年を超えて、みんなで協力して行事を楽しんでいる様に見えた。」「学年を超えて協力し合える仕組みがある。」(以上、保護者)等、児童・保護者とも「協働」に関わる児童の様子や学校の取り組みへの意見が昨年度に引き続き多く寄せられていました。今後も、学校全体の取り組みとして、子供一人一人が活躍し、ともに力を合わせて活動できる場や機会を意図的・計画的につくっていく中で、子供達の「協働する力」を育んでいきたいと思ひます。

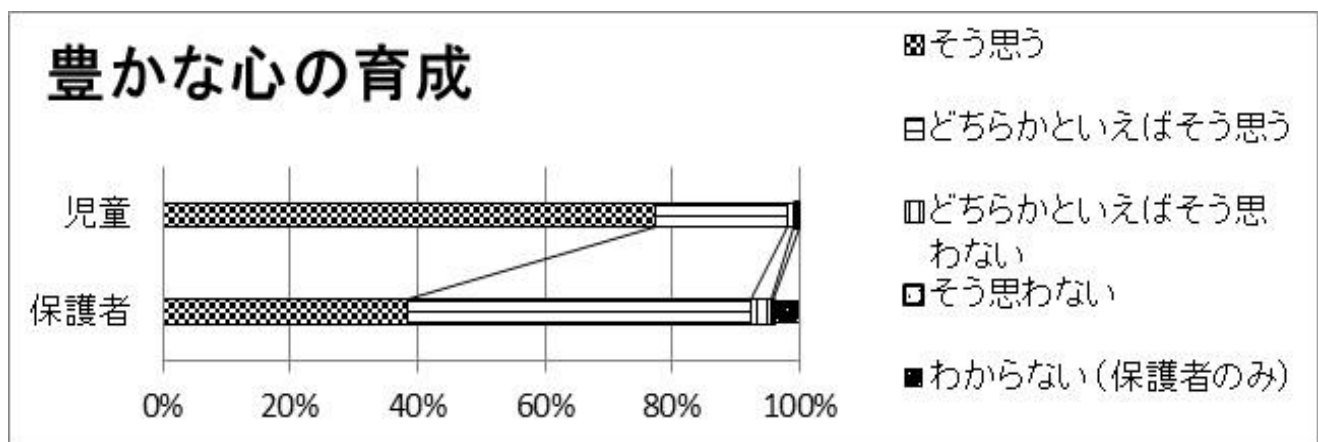
## 【豊かな心の育成】

### 《 設問 6 》

学校では、いじめや仲間外れの無い温かな学校を実現するために、命を大切に、人を思いやる心を育てる指導を心がけています。子供達は自分や相手を大切に思う心が育っていると思ひますか。

(児童：自分や相手のことを大切に思い、なかよく助け合おうとしていますか。)

### 《 結果 》



### 《 結果について 》

昨年度と同様に95%以上の児童が「そう思う」と評価しており、さらに今年度は98%強が肯定的な評価をしていました。また、児童においては、アンケート項目の中で最も高い評価となっています。質問内容が低学年(ともだちにやさしいことばをかけた、こまっているときはたすけたりしていますか。)と高学年(自分や相手のことを大切に思い、なかよく助け合おうとしていますか。)にて異なることもありますが、特に高学年では、99%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答していることから、ほとんどの児童が同項目の内容を意識して日々取り組んでいることがうかがえ嬉しく思ひます。児童からは、学年問わず、「みんながやさしい。」「たすけてくれる、やさしくしてくれる。」「どんな人とでも助け合ったり、支え合う事を皆が出来ている。」等、関連する意見が数多く挙げられていました。また、保護者からも、「それぞれを認め合い、良いところを褒め合う。」「温かい雰囲気でありやりの優しい子が多い。」等の意見が同様に数多く寄せられていました。引き続き、この片平小児童のよさを大切にしつつ、学校全体で子供達に関わる情報を共有しながら、子供一人一人を見守り、道徳や共生共育プログラムをはじめ、日々の様々な教育活動を通して子供達の心を育んでいきたいと思ひます。

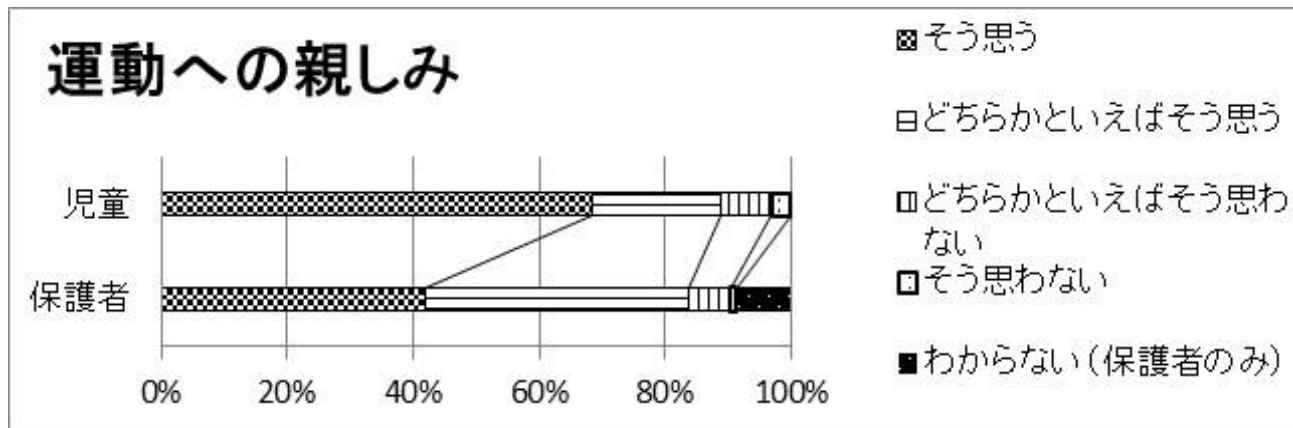
## 【健やかな心身の育成】

### 《 設問 7 》

子供達は体育科の学習や休み時間、校庭開放などを通して、運動を楽しもうという気持ちが育っていると思いますか。

(児童：体育の授業、休み時間、校庭開放などを通して、進んで体を動かすことができますか。)

### 《 結果 》



### 《 結果について 》

昨年度と同様に「そう思わない」と評価している児童と保護者が1~2割程度いました。一方、昨年度に比べて、児童の評価では肯定的な評価の割合が上昇しているとともに、保護者の方からも、「広い校庭で休み時間や放課後に思い切り体を動かせる。」等との回答があり、アフターコロナによる活動機会の増加や放課後の校庭開放の全面的な再開等によるプラスの影響も出てきているのではないかと思います。今後も可能な範囲で体育科の授業のみならず、休み時間の校庭での外遊びの促進等も含め活動の工夫を取り入れながら「子供が進んで体を動かす」取り組みを進めていきたいと思ひます。

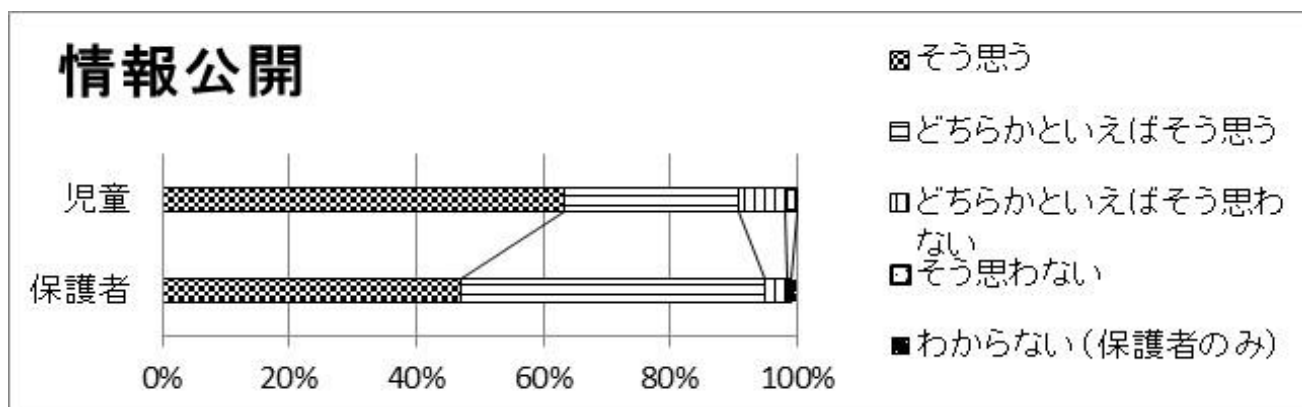
## 【開かれた学校づくり】

### 《 設問 8 》

学校説明会(紙面)、個人面談、授業参観、ホームページ、各種おたより等で教育方針や子供達の様子が伝わっていますか。

(児童：学校の手紙をおうちの人にきちんと渡したり学校のお話をうちの人にしたりしていますか。)

### 《 結果 》



## 《 結果について 》

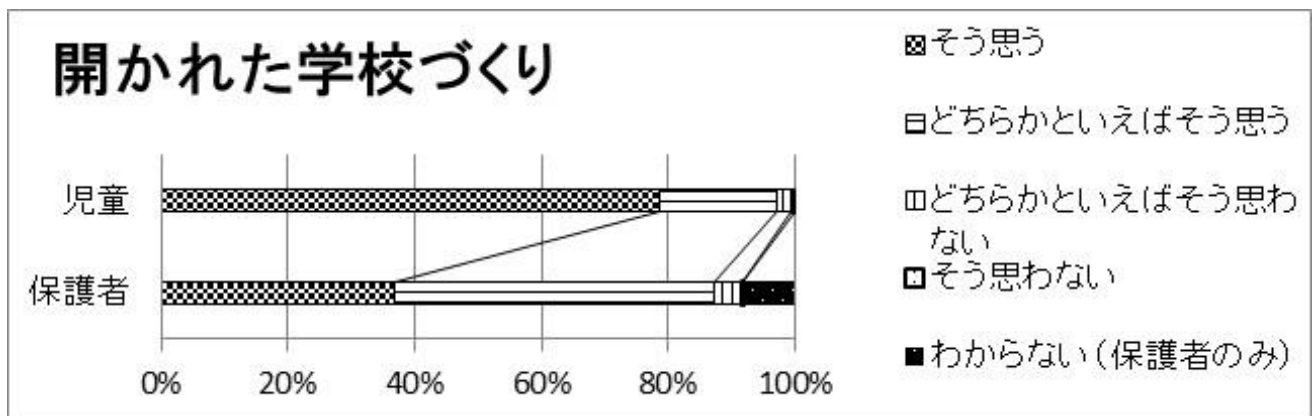
昨年度と同様、児童・保護者とも9割以上が「そう思う」と回答していました。特に、保護者は95%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と評価しており、学校説明会、個人面談、授業参観、ホームページ、また、学級・学年・学校だより等を通じた情報公開（日頃の教育活動や子供の様子）への取り組みを前向きにとらえていただき有難く思います。保護者の方の意見からは、「学校と保護者が教育方針を共有し、協力し合い子供達を教育出来る。」「毎月の学校・学年便りもだが、HPもしっかりと作られており、以前より学校の様子が分かりやすくなったと思います。」「ミマモルメ、ホームページ、クラスだよりと、情報発信力がある。」「授業参観など学校の様子を見る機会が多いところ。先生とのコミュニケーションがとりやすく距離が近く感じる。」等、これまでに比べて、この質問項目に関連する肯定的な意見が数多く寄せられていました。引き続き、学校の教育方針や子供達の様子が保護者の皆様に伝わるよう努めていきたいと思っています。

## 《 設問 9 》

学校、保護者、地域の方々、子供達が協力し合い、思いを伝え合いながら学校づくり（教育活動）を行っていると思いますか。

（児童：片平小学校は、学校、地域、みんなが協力し合いながら作り上げている学校だと思いますか。）

## 《 結果 》



## 《 結果について 》

昨年度と同様に児童・保護者とも9割が「そう思う」と評価しています。児童に関しては、97%以上が肯定的な評価となっており、児童・学校・地域が協力し合って作り上げている片平小という意識を高くもっていることが分かりました。児童の記述の中にも、「地域の人にも挨拶・笑顔なところ」「横断歩道などで見守ってくれている人もいるから安心」「地域の人との交流がある。」等、「片平小のよさ」として挙げられていました。また、保護者の方からも「街全体で見守ってくれる暖かさを感じる。」「地域とのかかわりを重視している。」「地域と一緒に学校運営している。」等、多くの肯定的なご意見をいただきました。一方、「より一層、先生方と保護者と地域の方々の連携を深めて、よりよい片平小学校を作っていこうという活動を行っていくことが必要だと思います。」「地域を大事にする気持ちももてるような行事や地域との繋がりを意識できる仕組みが必要かなとも感じます。」等、さらによりよい片平小へ向けた意見も寄せられていました。来年度開校40周年を迎えることもあり、今後も地域の皆様のご協力をいただきながら、地域に根差したよりよい片平小となるよう取り組んでいきたいと思っています。

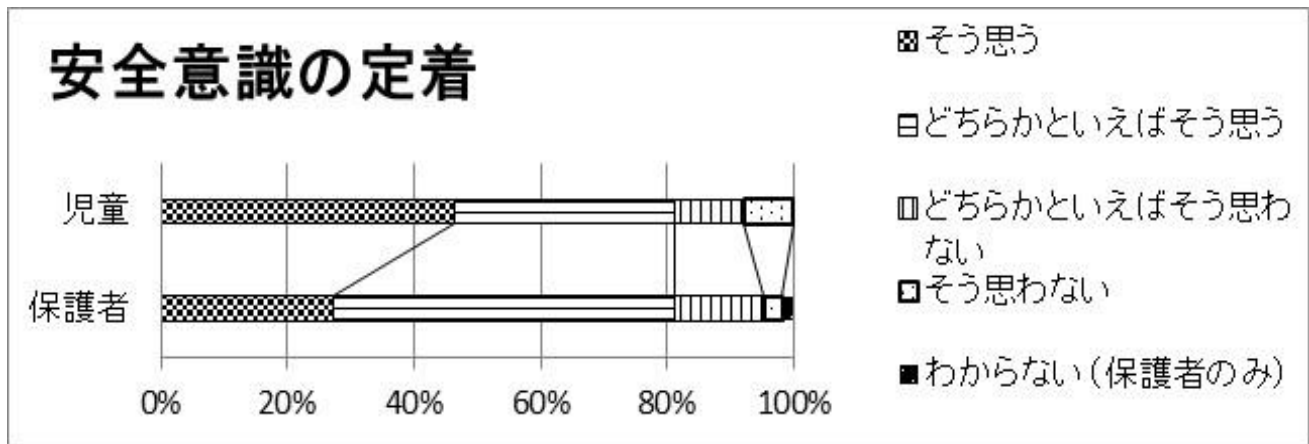
## 【安全・安心な学校づくり】

### 《 設問 10 》

ご家庭では、災害時の過ごし方や登下校時の事故等の未然防止について話題にしていますか。

（児童：災害が起こった時の過ごし方や登下校の時のマナーについて家の人と話しをしていますか。）

## 《 結果 》



## 《 結果について 》

児童に関しては、肯定的な評価が少し増えていましたが、およそ2割の児童と保護者が、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答していました。今後も、避難訓練や交通安全教室、下校指導、全校朝会での話、等のみならず、日常的な指導を通して、子供達の意識向上を図っていきます。また、今年度も多くの方々に子供達の登下校を見守っていただきました。保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。引き続きご家庭でも災害時の過ごし方、交通ルール、登下校の仕方等についてお子様とお話する機会を設けていただけると幸いです。ご協力をよろしくお願いいたします。

## おわりに

たくさんの保護者にご回答いただき、大変ありがたく思っております。コロナ禍を経て、改めて見直した教育活動に取り組んだ1年でしたが、多くの項目で児童や保護者に肯定的に受けとめていただき、また、たくさんの前向きなご意見もいただき教職員も励みになりました。

毎朝、元気な挨拶から始まる学校生活は定着し、日々の学びや、異学年の交流、学校行事などを通して、「主体的な学びや協働する楽しさや大切さ」について、より理解が深まっているように思います。「安全・安心な学校作り」では、引き続き登下校時のルールの徹底、災害への準備、不審者対応なども含め、各町内会や区役所など地域との連携をすすめるとともに、子供達には、自分で考え自分の命を守る力を育てていきたいと思っております。

「開かれた学校づくり」については、ゲストティーチャーによる体験授業を多くとりいれ充実した学習につながりました。開校40周年にあたる来年度は、ますます地域とふれあう機会を増やしていきたいと思っております。PTAも皆様が参加しやすいようさまざまな工夫をしてくださっています。今後も保護者のボランティア(Pボさん)や、地域の見守りサポーターや、NPOの教育サポーターなど、さまざまなお力を頂きながら、きめ細やかな支援につなげたいと思っております。

アンケート結果やご意見を真摯に受けとめ、よりよい学校作りに努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

川崎市立片平小学校 校長 紀 裕子